

転落事故編



～予防ポイントを実践して病気や事故を未然に防ぎ、救急事故を予防しよう！～

転落事故とは、階段、屋根、ベランダ、ベッド、脚立、いすなどの高さのある場所から落ちる事故を指します。乳幼児、高齢者で特に多く発生しており、年齢に応じた備えが重要です。

今日からできる「転落事故」予防(乳幼児)

- ☐ 保護者や保育者が見守り、危険な場所で遊ばせない
- ☐ ベランダや窓の近くに踏み台になるものを置かない
- ☐ 窓や網戸には補助錠を付ける
- ☐ 階段には乳児用の移動防止柵を取り付ける
- ☐ 自転車に子どもを乗せたまま自転車から離れない

京都市の転落事故 搬送傾向



- ・住居での発生が6割を超え、居室での発生も多い
- ・高齢者では10月～1月に多く発生する

今日からできる「転落事故」予防(高齢者)

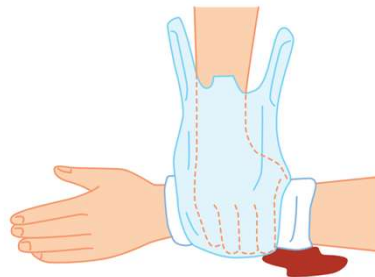
- ☐ 階段には手すりや滑り止めを設置する
- ☐ いすや箱を踏み台代わりにしない
- ☐ 脚立や踏み台は、平らで滑らない場所で使用する
- ☐ ベッドは立ち上がりやすい高さに調整する
- ☐ 日頃から運動し、筋力を維持する

一つでも当てはまれば 迷わず119番通報

- ☐ 高い場所から転落した
- ☐ 意識がない・反応が悪い
- ☐ 呼吸が苦しい、または呼吸がない
- ☐ 頭を打ち、繰り返し吐く
- ☐ 出血が多い、または血が止まらない
- ☐ 手足のしびれや動かしにくさがある
- ☐ 歩けない、股関節に強い痛み、変形がある

応急手当と対応

- ☐ 高い場所から転落した場合は、無理に動かさない
- ☐ 出血がある場合は、清潔なガーゼや布で傷口を圧迫して止血する
- ☐ 止血するときは、ビニール袋などを使い血液に直接触れない
- ☐ 痛みや腫れがある場合は、安静にして冷やす
- ☐ 骨折が疑われる場合は、無理に動かさず固定する



京都市消防局
KYOTO CITY FIRE DEPARTMENT

救急車を呼ぶか迷うときには **#7119** をご利用ください
【監修】京都市・乙訓メディカルコントロール協議会

